

The 2 Chome Times 2023年 9月号

NO1のプレミアムストリートをめざして

NO304号

2023年・9月・25日



発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス 9月号

編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★着実に進んでいますよ！

神戸市では、平成27年9月に三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定しました。この構想では、三宮駅周辺で指摘されている「バス乗り場が分散していてわかりにくい」、「バスと歩行者の交錯による安全面の懸念・渋滞等の発生」などの課題を解消し交通結節機能を向上させるため、現在分散している中・長距離バス乗降場を集約し、ミント神戸1階の三宮バスターミナルと一体的に利用できる新たなバスターミナルを整備することを位置付けています。その起工式が9月7日に行われ、工事安全祈願祭の神事が生田神社の私達の街衆の間でもある児嶋英毅榎禰宜により執り行われました。再開発はとてもゆっくりですが、この様に着実に進んでいます。2029年に完成が予定されているJR三ノ宮駅新ビルが完成すればもっとハッキリと変化を感じるでしょう。今から本当に楽しみですね！



(雲井通り5丁目再開発完成予想図)

★初開催の神戸周遊フェス無事成功！街創り協議会へウクライナ支援募金を贈呈

神戸出身のシンガーソングライター作人さんが発起人となって、神戸三宮の街中で気軽に音楽やアート、飲食を楽しめるように想いを込めて初めて企画された“神戸周遊フェス”が8月4日～6日の3日間開催されました。ご自身も阪神淡路大震災で被災され、お姉さんを亡くされた経験から、歌や音楽を通して、震災のことを語り継ぎ、命の大切さを伝えてきた作人さん。今回は、さらに多くのアーティストの表現の場を広げようと、同じく街を上げてクリエイターを支援している神戸市と共催で実施され、東遊園地や三宮プラッツ、生田神社など三宮のあちこち



でライブなどのイベントを開催し、大成功されました。企画にあたり、三宮の中心であり、当日も“会場と会場をつなぐ導線”でもある“三宮センター街”でライブイベントをしたい！という熱い想いを「KOBE三宮・ひと街創り協議会」久利会長に直に伝えられ、2丁目商店街理事ともたびたび意見を交わしました。残念ながら人の往来の多い商店街のため、ライブイベントの開催には至りませんでした。街創り協議会が行っている『ウクライナ支援募金』の活動について伝えたところ、作人さんたちも共感してく下さり、イベント当日3日間、作人さんとライブ出演者の皆さんで街頭募金活動を実施し、ライブ会場にも募金箱を設置するなど協力して頂き、総額15万円以上の寄付が集められました。募金は9月の街創り協議会で作人さんから直々に贈呈され、街創り協議会から感謝状が授与されました。再整備が進む三宮で、いつでも気軽に音楽やアートが楽しめるように、これからも協力して、一緒に街を盛り上げる仲間が増え、大変嬉しく思いました。



神戸周遊フェスウェブサイト <https://kobeshuyufes.com/>

★おわら風の盆

越中路に秋の訪れを告げる伝統行事「おわら風の盆」が9月1日から3日まで富山市八尾（やつお）町で行われました。この伝統ある行事に街の関係者がその魅力を探



るべく富山を訪れました。初めて耳にする方も多いと思いますが、この「風の盆」は五穀豊穡（ほうじょう）の祈りを込めて江戸時代の元禄年間（1702年頃）から約



300年続くとされています。そろいの浴衣や法被を身にまとい、編みがさを目深にかぶった男女が、三味線や胡弓（こきゅう）の哀愁漂う音色に合わせて優美に踊ります。その舞台となるのが、富山市八尾町ですが、その中心部を走る石畳のまち並みでは、一般家屋も色や形を統一され、無電線化の整備も行われており、江戸時代のまち並みの佇まいを残しています。この八尾町は人口が約2万人なのですが、この「風の盆」の三日間で約20万人が訪れます。「岸和田だんじり祭り」や「灘のけんか祭り」などは弾けるエネルギーを感じますが、それとは対照的に通りに並ぶぼんぼりの明かりの中、情緒や優美さを纏った踊り手が坂の街を流し歩きます。ただ静かな踊りというのではなく、屈指の難曲と言われる越中おわら節に合わせての踊りは内なるエネルギーすら感じさせます。それゆえ、時代が変われども親から子へ、子から孫へと引き継がれたアイデンティティが根付いているのを感じさせます。時代の変化は目まぐるしいですが、心のひだに沁み込んでくるこの「おわら風の盆」の伝統が今後も続くことを願いますし、皆様もチャンスがあれば是非、富山に出かけられてみてはいかがでしょうか。



★編集後記

8月24日、25日、26日と三日間に亘ってアートスクエアでウクライナ街頭募金活動が行われました。



周りの店舗の方々には本当にご迷惑をお掛けしました事を改めてお詫びいたしますが、あるご婦人のご寄付には本当に驚いてしまいました。初日に活動している最中に、上品そうなお婦人が活動の様子を聞かれた上、「少し、まとまった寄付を考えています」と発言されました。それに対応されたボランティアの方が「それなら神戸市や他の機関もご紹介しますよ」と答えたところ、「今までも寄付をしたことはあるが、ここの活動が一番信頼できる」と仰られ、最終日に再びお越しになり、何と100万円の現金をウクライナ女性のマリアさんが抱えていた募金箱

に差し込まれました。その中にはお手紙も添えられていて「ウクライナにいる子供達を一日も早く安心してご両親と生活出来る日が来ます様に心より願っています。子供達のためにお役に立てて頂きたい心ばかりの金額ですがお受け取り下さいませ」と温かい言葉にその想いが溢れていました。もちろんお名前は何度かお尋ねしましたが、一切明かさませんでした。吉田松陰の言葉に「至誠にして動かざる者は未だ之れ有らざるなり」（誠の心をもって尽くせば、動かなかった人など今まで誰もいない）という有名な名言がありますが、これを正に表しているような気がしました。本当に改めて感謝申し上げますと共に、平素の地味な活動の実績が、多くの方々に街への信頼を築き、高めている事を実感致しました。

美しい街 共に歩む ビルメンテナンス

つるかめ管財株式会社 078-371-3589

